

2015 年度海外研修概要

行程

- 日程 2015年8月30日(日)～9月9日(水)
- 訪問先 スウェーデン(ストックホルム)、ドイツ(ベルリン)



※訪問先は毎年見直しを実施していますので、各年で訪問先が異なります。

以下、各都市の報告は研修参加学生によるものです。

ストックホルム



- 主な訪問先: 女性シェルター、障がい者施設、高齢者施設、保育園、小学校、青少年センター など
ストックホルムでは、高齢者、障がい者、児童福祉などの様々な分野の施設を訪問しました。研修前には入念な事前学習を行っていたため、視察先では各自が問題意識を持ちながら、研修に臨むことができました。また、保育園や小学校では実際に生徒や先生からの生の声を聞き、日本との違いに驚かされました。

学生交流

スウェーデンでは今年も例年通り、ストックホルム大学日本語学科の学生たちと交流をしました。交流会では、ザリガニのボイルやミートボールなどを協力して調理し、その後はお互いの国のゲームを紹介し合うなど、終始和やかな雰囲気での交流となりました。交流会が終わってからも、各自が仲良くなったスウェーデンの学生たちと約束し、ストックホルム市内を案内してもらうなど、有意義な時間を過ごすことができました。



ベルリン



- 主な訪問先: 日独センター、強制収容所、若者職業訓練センター、多世代ハウス など

ベルリンでは、ナチス・ドイツの収容所であるラーフェンスブリュック強制収容所を訪れ、戦争の歴史を学び、過去の惨劇を目の当たりにすることで、平和について改めて考えさせられました。また、若者職業訓練センターでは、その施設規模に驚かされながらも、利用者の話を聞くことで日本との違いを再認識することができました。

研修風景



ストックホルムの街並み



視察中の様子



高齢者施設視察の様子



多世代ハウス視察の様子



現地学生との交流



ドイツ自主視察(ブランデンブルグ門)の様子